

	多摩部19都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（現行）	多摩部19都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（原案）	見直し理由	（参考） 西東京市都市計画マスタープラン
ひばりが丘	駅北口周辺では、交通広場や道路の整備に併せ、敷地の統合などにより街区再編が進み、商業施設を中心としたにぎわいの維持・創出、安全で快適な歩行者環境の改善、地区全体の防災性が向上した魅力のある生活拠点を形成	<u>・駅周辺では、商業を中心とした機能の集積や、安全で快適な歩行者空間の創出により、利便性が高くにぎわいのある地域の拠点を形成</u>	・都市づくりのグランドデザインとの整合 ・駅前広場が完了したため一部削除	【商業中心拠点】 ひばりヶ丘駅周辺地域（以下地域の将来像より抜粋） ・安全で快適な住環境 ・にぎわいのある商業中心拠点 ・駅周辺の基盤整備を進め、安全性と利便性の高い空間づくり
ひばりが丘団地	武蔵野の面影を残す雑木林やケヤキ並木、桜並木など、これまで培われてきた良好な居住環境を形成しつつ、高経年化した団地の建替えが進められ、住宅の整備、公共・公益施設や高齢者福祉施設の整備により、新しい住宅地に再生	<u>・大規模団地周辺では、地域主体の活動が活発に行われ、魅力的で交流が生まれる生活の中心地を形成</u>	・都市づくりのグランドデザインとの整合	【住環境創出拠点】 ひばりヶ丘駅周辺地域（以下地域の将来像より抜粋） ・周辺環境との調和、住宅以外の用途との複合利用の計画的な推進、自然環境豊かな空間づくり
保谷	駅南口周辺では、安全な歩行空間が確保されるとともに、日常生活を支える地域に密着した既存商店街の活性化が図られ、にぎわいの拠点を形成	・駅南口周辺では、安全な歩行空間が確保されるとともに、日常生活を支える地域に密着した既存商店街の活性化が図られたにぎわいのある <u>地域の拠点を形成</u> ・ <u>駅北側では、都道計画道路沿道での周辺環境と調和した土地利用が進むとともに、みどり豊かな環境の中で良好な住宅地を形成</u>	・都市づくりのグランドデザインとの整合 ・補助 1 5 6 号線計画による	【生活拠点】 保谷駅南部地域（以下地域の将来像より抜粋） ・今ある商店街のさらなる発展 保谷駅北部地域（以下地域の将来像より抜粋抜粋） ・みどり豊かで閑静な低層住宅を中心
田無	駅南口周辺では、土地の有効活用と都市基盤の整備が進み、既存のまちと調和しつつ、にぎわいを創造する生活拠点を形成	<u>・駅周辺では、都市基盤の整備と土地の有効活用が進み、商業等の生活利便施設が集積し、にぎわいのある地域の拠点を形成</u>	・都市づくりのグランドデザインとの整合	【商業中心拠点】 田無駅南部地域（以下地域の将来像より抜粋） ・にぎわいのある空間形成を図り、望ましいまちづくりの検討
東伏見	駅南口周辺では、石神井川の親水化や東伏見公園、歴史的資源などの緑をいかした水と緑のネットワークが形成されるとともに、道路の整備により快適で潤いのある市街地が形成	・駅南口周辺では、 <u>石神井川や東伏見公園、歴史的資源などをいかした水と緑のネットワークを形成するとともに、道路と鉄道の立体交差化や都市計画道路などの整備が進み、生活に密着した商業施設の集積する生活の中心地を形成</u>	・都市づくりのグランドデザインとの整合 ・文言整理 ・連続立体交差化計画による	【生活拠点】 東伏見・西武柳沢駅南部地域及び北部地域（以下南部地域の将来像より抜粋） ・石神井川や農地・都立東伏見公園をはじめとする公園の保全・整備により、みどりと水に親しめるまち
西武柳沢	駅北口周辺では、交通広場や道路の整備により、安全で快適な交通機能が充実するとともに、日常生活の利便性を高める商業施設が集積し、にぎわいのある暮らしやすい市街地を形成	・駅北口周辺では、交通広場や道路の整備により、安全で快適な交通機能が充実するとともに、日常生活の利便性を高める商業施設が集積し、にぎわいのある暮らしやすい <u>生活の中心地</u> を形成	・都市づくりのグランドデザインとの整合	【生活拠点】 東伏見・西武柳沢駅南部地域及び北部地域（以下北部地域の将来像より抜粋） ・日常の買い物のためのにぎわいのある生活拠点づくり